

平成28年度行政事業レビューシート（厚生労働省）											
事業名	麻しん排除対策推進費				担当部署庁	健康局			作成責任者		
事業開始年度	平成21年度	事業終了 (予定) 年度	平成27年度		担当課室	結核感染症課			浅沼 一成		
会計区分	一般会計										
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-				関係する計画、 通知等	「麻しんに関する特定感染症予防指針」(平成19年厚生労働省告示第442号)					
主要政策・施策	-				主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「麻しんに関する特定感染症予防指針」(平成19年厚生労働省告示第442号)において、国は、麻しんが排除・維持されているかを判定し、世界保健機関に報告する排除認定会議を設置するとしており、また、厚生労働省は、関係機関との連携を強化し、国民に対し、麻しんとその予防に関する適切な情報提供を行うよう努めるものとするなどとしている。このため、麻しん発生時対応の更なる強化を行い、麻しんとその予防に関する普及啓発を実施し、麻しんの排除に向けた取り組みを推進することを目的とする。										
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	麻しん発症地域における麻しんの発生経路等の調査・分析を行うとともに、その結果を広く周知することにより麻しん排除を達成する。										
実施方法	直接実施										
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求				
	予算 の 状 況	当初予算	3	3	3	-	-				
		補正予算	-	-	-	-					
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-					
		予備費等	-	-	-	-					
	計		3	3	3	0	0				
	執行額		3	3	1						
執行率(%)		100%	100%	33%							
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標			単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 28 年度
	定期予防接種の接種率を95%以上にする		予防接種の接種率		成果実績	%	94.2	94.8	集計中	-	-
					目標値	%	95	95	95	-	95
					達成度	%	99.2	99.8	-	-	-
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	麻しん・風しん対策推進会議等会議の開催回数 (26年度までは麻しん対策推進会議)			活動実績	回	2	1	2	-		
				当初見込み	回	2	2	2	2		
単位当たり コスト	算出根拠				単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	単位当たりコスト = X / Y X :「麻しん排除対策推進費執行額」 Y :「麻しん・風しん対策推進会議等会議開催回数」			単位当たり コスト	百万円	1.5	3	0.7	-		
				計算式	X/Y	3 / 2	3 / 1	1.3 / 2	-		
平成28・29年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目		28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由						
	社会保障関係情報化業務 庁費		-	-							
計		0	0								

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	I-5 感染症など健康を脅かす疾病を予防・防止するとともに、感染者等に必要な医療等を確保すること									
	施策	I-5-1 感染症の発生・まん延の防止を図ること									
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 28 年度		
		予防接種の接種率(麻しん) (結核感染症課調べ)	実績値	接種率	94.2	94.8	集計中	-	95		
			目標値	接種率	95	95	95	-	95		
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
	麻しん発症地域における麻しんの発生経路等の調査・分析を行うとともに、その結果を広く周知することにより、麻しんの接種率の向上につながるものである。										
	改革項目	分野:	-	-							
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)			単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
				成果実績	-	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	-	
	(第二階層) KPI	KPI (第二階層)			単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
				成果実績	-	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	-	
	本事業の成果と改革項目・KPIとの関係										
-											

事業所管部局による点検・改善									
国費投入の必要性	項 目				評 価	評価に関する説明			
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。				○	感染症の発生・まん延を防止するため、麻しんの根絶を推進する事業であり、国民のニーズ、優先度ともに高く国費を投入しなければ事業目的を達成できない。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。				○	感染症の発生・まん延を防止するため、麻しんの根絶を推進する事業であり、国の関与のもと、適確に実施すべき事業である。			
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。				○	感染症の発生・まん延を防止するため、麻しんの根絶を推進する事業であり、国民のニーズ、優先度ともに高い事業である。			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。				○	予算決算及び会計令により認められている少額随意契約			
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。				無				
	競争性のない随意契約となったものはないか。				無				
	受益者との負担関係は妥当であるか。				-	-			
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。				○	事業の実施に必要な最低限の経費しか計上していないため単位あたりコストの削減は困難であるが、引き続き消耗品等の抑制による節減を実施。			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。				-	-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				○	感染症の発生・まん延を防止するため、麻しんの根絶を推進する事業であり、真に必要な費目を対象経費としている。			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)				○	平成27年3月、世界保健機関より麻しん排除の認定を受けたため、排除達成のための調査・分析・普及啓発等を行う必要がなくなったため。			
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。				-	-			
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。				○	成果実績は成果目標に見合ったものとなっている。			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。				○	感染症の発生・まん延を防止するため、麻しんの根絶推進のための手段となっている。			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。				○	活動実績は見込みに見合ったものとなっている。			
整備された施設や成果物は十分に活用されているか。				-	-				

関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）		-			
	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
	-	-	-			
点検・改善結果	点検結果	本事業は、「麻しんに関する特定感染症予防指針」（厚生労働省告示422号）に基づく麻しん排除達成のため実施している。活動実績、成果目標達成度は見込みに見合ったものとなっている。平成27年3月、世界保健機関より麻しん排除の認定を受けたため、28年度は予算を縮小した上、風しん排除対策推進費と統合（麻しん・風しん排除対策推進費）しており、その中で麻しんの排除状態を維持するための予防等に関する普及啓発等を行う予定である。				
	改善の方向性	引き続き必要な予算を確保し、適正な事業の実施に努める。				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成27年度をもって終了すること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。					
備考						
-						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	147	平成23年度	118	平成24年度	93	
平成25年度	104	平成26年度	114	平成27年度	120	
資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する） （単位：百万円）	※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。					
	厚生労働省 1. 3百万円					
	世界保健機関へ提出する「麻しん排除状態維持に関する報告書」とりまとめのための会議を開催する。 麻しん排除のため行った麻しんの発生経路等の調査・分析や排除状態維持の必要性					
	【随意契約(少額)】 A 民間会社(4社) 0. 3百万円 内訳 麻しん・風しん対策推進会議費用 【随意契約(少額)】 B 民間会社(1社) 百万円 内訳 排除認定等に係る報告書等作成費用 百万円					

費目・使途 （「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額が 支出されている者 について記載す る。費目と使途の 双方で実情が分 かるように記載）	A.			B.瑞穂印刷（株）		
	費 目	使 途	金 額 （百万円）	費 目	使 途	金 額 （百万円）
				印刷費	排除認定等に係る報告書等	1
	計		0	計		1

支出先上位10者リスト

A.								
	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 （百万円）	契約方式	入札者数 （応募者数）	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 （支出額10億円以上）
1	(株)ビー・スクエアー ド	6013201013053	麻しん・風しん対策推進会 議消耗品	0.1	随意契約 （少額）	-	100%	-
2	(株)メロン	4010401046331	麻しん・風しん対策推進会 議消耗品	0.1	随意契約 （少額）	-	100%	-
3	(福祉)日本盲人職能 開発センター 東京 ワークショップ	1011105000981	麻しん・風しん対策推進会 議速記	0.1	随意契約 （少額）	-	100%	-
4	ファミリーマート	2013301010706	麻しん・風しん対策推進会 議消耗品	0	随意契約 （少額）	-	100%	-

B								
	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 （百万円）	契約方式	入札者数 （応募者数）	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 （支出額10億円以上）
1	瑞穂印刷（株）	2011201005289	排除認定に係る報告書等 印刷	1	随意契約 （少額）	-	100%	-

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック 名	契 約 先	法 人 番 号	業 務 概 要	契約額 （百万円）	契約方式	入札者数 （応募者数）	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 （契約額10億円以上）
1		-	-	-	-	-	-	-	-